

平成27年度 国内産小麦活性化推進事業公募要領

第1 はじめに

我が国の食料の自給力及び自給率を向上させるためには、自給力向上戦略的作物として重要な位置を占める国内産小麦の需要を拡大し、需要に応じた計画的な生産を推進していくことが重要です。

このため、一般社団法人全国米麦改良協会（以下、「協会」という。）は、国内産小麦活性化推進事業（以下、「活性化事業」という。）を実施することとし、国内産小麦の消費拡大を図るための事業を積極的に推進することとします。

つきましては、標記事業に係る応募の手続き等について、この公募要領及び米麦改良協会ホームページに掲載されている「国内産小麦活性化推進事業実施要領（平成27年4月17日全米麦協第5号）（以下「要領」という。）」をご覧ください。必要な提出書類を下記の公募期間内に提出して下さい。

公募期間：平成27年4月20日（月）から平成27年5月8日（金）まで

第2 事業内容

本事業は、国内産小麦利用拡大等推進事業と一体的に取り組む事業とし、次に掲げる3つの事業として民間機関に委託して実施します。

1 全国活性化事業

WEBサイトを活用し、全国各地で実施されている国内産小麦のイベント等の取り組みに統一感を持たせた国内産小麦に関する情報の受発信及び消費拡大に関連したロゴ、キャッチコピー等の管理・運営に関するを行う。

2 地域活性化事業

次世代を担う子供達を対象として、学校教育の現場等において国内産小麦の生産・流通・消費に関する食育の支援を行う。

3 拠点事業

国内産小麦の持つ加工適性や食感・風味等の発見・再発見を図ることを目的として、国際空港等において、外国人観光客を対象に国内産小麦を使ったパンや麺類等の試食等を行い、その感想等についてメディアを通じて国内へ情報発信する。

第3 応募方法

1 応募に必要な書類は、平成27年度国内産小麦活性化推進事業実施企画書（以下、「企画書」という。）です。企画書の様式及び添付書類等は別記様式第1号のとおりですので、様式に従って応募者が作成して下さい。

なお、必要に応じて適宜、補足説明用の資料を提出することが可能です。

2 提出に当たっては次のことにご留意下さい。

- ① 応募は、1事業実施団体につき1事業とします。
- ② 応募書類に虚偽の記載や不備があった場合は審査対象となりませんので、注意して作成願います。
- ③ 企画書は、別表1に定める仕様書に基づき、作成することとし、ポイントを絞ってA4版で30枚（添付資料を含む）以内として下さい。
なお、企画書の補足説明資料については、パワーポイントでの作成が可能です。
- ④ 提出部数は正副2部です。応募書類の作成及び提出に要する一切の費用は応募者の負担とします。
- ⑤ 事業経費については、消費税及び地方消費税額を含んだ額とし、千円単位（百円以下切り捨て）で記入して下さい。
- ⑥ 提出方法は、持参又は郵送により6に定める問い合わせ先に提出して下さい。なお、FAX又は電子メールによる提出は受け付けません。
- ⑦ 提出期限は平成27年5月8日（金）17時まで（郵送の場合は同日の消印有効）とします。
- ⑧ 提出後の申請書類については、採用、不採用にかかわらず返却は致しませんので、あらかじめご了承下さい。
- ⑨ 提出後に事業内容を変更するときは、再提出して下さい。提出期限後の場合は速やかにその旨を報告して下さい。

第4 応募後のスケジュール

1 委託先の決定

提出された企画書については、民間流通麦促進対策事業運営委員会規約第4条に定める企画審査部会の委員から意見を聞いて、企画内容及び

経費等を総合的に判断し、一般社団法人全国米麦改良協会会長が委託先を決定します。

なお、必要に応じて応募者からのヒアリングあるいは現地視察を行うことがあります。

2 採否の決定及び通知

採否の決定は平成 27 年 5 月末日までに行うこととしています。採択、不採択にかかわらず応募者全員に通知します。

なお、採否の理由等に関するお問い合わせにはお答えできません。

第 5 委託費の申請等

1 委託費の交付

採択された事業を行う者（以下、「事業実施者」という。）は、事業の完了後又は平成 28 年 3 月 11 日（金）までに、別記様式 2 号により支払を証明する書類を添えて委託費の交付申請書を提出して下さい。

2 概算払い請求

実施要領の第 6 に基づき委託費の概算払いを受けようとする事業実施者は、別記様式 3 号による概算払い請求書を提出して下さい。

なお、概算払いを受けた事業実施者は、別記様式第 4 号により、事業の完了後又は平成 28 年 3 月 11 日（金）までに、支払を証明する書類を添えて委託費精算書を提出して下さい。

3 事業完了報告

事業実施者は、事業完了後、速やかに経費の収支等を明らかにできる証拠書等を添付の上、事業完了報告書を提出願います。

なお、企画書の事業内容と事業完了報告書の内容に著しい乖離がある場合などは、支払った委託費の一部又は全部の返還請求を行うこととなりますのでご留意下さい。

第 6 問い合わせ先

一般社団法人 全国米麦改良協会

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-29

電話 03-3262-1325 FAX 03-3262-2667

担当者 本鍛治参事

記様式第1号

番号
年月日

一般社団法人 全国米麦改良協会会長 あて

住所
会社名（あるいは団体名）
代表者名 印

国内産小麦活性化推進事業実施企画書の承認申請について

国内産小麦活性化推進事業実施要領（平成27年4月17日付け全米麦協第5号）第2に定める事業を推進するため下記のとおり申請します。

記

- 1、 添付書類
 - (1) 実施企画書
 - (2) 申請者の組織や活動内容を示す資料（写し）
 - ① 設立趣意書または定款、寄付行為、規約等
 - ② 過去1年間の収支決算（決算書、貸借対照表、損益計算書等）
 - ③ 役員名簿、組織図、会社案内（パンフレット）等

- 2、 担当窓口
 - (1) 所属、役職名、氏名
 - (2) 所在地、電話、FAX番号、Eメールアドレス

別記様式第1号（承認申請書）に添付する企画書

1 実施する事業名（実施要領第2の事業内容）

国内産小麦活性化推進事業のうち

_____事業

2 事業実施団体名

3 企画書に記載すべき事項

企画書の様式は任意（但し、A4版30枚以内）

- (1) 事業の目的
- (2) 事業の実施期間
- (3) 事業の概要
- (4) 効果の予測
- (5) 経費見積（積算等の根拠を添付）
- (6) その他参考となる資料

別記様式第2号

番 号
年月日

一般社団法人 全国米麦改良協会会長 あて

住 所
会社名（あるいは団体名）
代表者名 印

国内産小麦活性化推進事業に係る委託費の交付申請について

国内産小麦活性化推進事業公募要領（平成27年4月17日付け全国米麦協第6号）第5の1の規定に基づき、下記のとおり委託費の交付申請をします。

記

1 申請金額 _____ 千円

2 委託費の振込先
○○銀行○○支店
○○預金 口座番号○○○○○○○
口座名義○○○○○○○
口座名義のカタカナ表記

別記様式第3号

番 号
年月日

一般社団法人 全国米麦改良協会会長 あて

住 所
会社名（あるいは団体名）
代表者名 印

国内産小麦活性化推進事業に係る交付金の概算払申請について

国内産小麦活性化推進事業公募要領（平成 27 年 4 月 17 日付け全国米麦協第 6 号）第 5 の 2 の規定に基づき、下記のとおり平成〇〇年度の委託費の概算払いを申請します。

記

- 1 委託費の決定額（採択金額） _____ 千円
- 2 概算金額の限度額（決定額の 80%） _____ 千円
- 3 概算払い申請金額 _____ 千円
- 4 概算金の振込先 〇〇銀行〇〇支店
 〇〇預金 口座番号〇〇〇〇〇〇
 口座名義〇〇〇〇〇〇
 口座名義のカタカナ表記

一般社団法人 全国米麦改良協会会長 あて

住 所
会社名（あるいは団体名）
代表者名 印

国内産小麦活性化推進事業に係る委託費の精算について

国内産小麦活性化推進事業公募要領（平成27年4月17日付け全米麦協第6号）第5の2のなお書きの規定に基づき、下記のとおり平成〇〇年度の委託費の精算書を提出します。

記

- | | | | |
|---|---------------|--|----|
| 1 | 委託費の決定額（採択金額） | _____ | 千円 |
| 2 | 概算金額の領収額 | _____ | 千円 |
| 3 | 精算額 | _____ | 千円 |
| 4 | 差引追給額又は返納額 | _____ | 千円 |
| 5 | 追給額の振込先 | 〇〇銀行〇〇支店
〇〇預金 口座番号〇〇〇〇〇〇〇〇
口座名義〇〇〇〇〇〇〇〇
口座名義のカタカナ表記 | |

注：返納額が発生した場合は別途、返還手続きを行う。

別表 1

国内産小麦活性化推進事業の仕様書

事業区分	仕 様 内 容	備 考
全国活性化事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 WEB サイトを活用した国内産小麦の消費拡大に係る情報の受発信に関する企画 (企画書に折り込む留意事項) <ul style="list-style-type: none"> ・ 地方で行われている国内産小麦の消費拡大を図るための各種イベント情報 ・ 国内産小麦に関する商品、事業者及びサービス等に関する情報 ・ その他、国内産小麦の消費拡大に関する各種情報 2 国内産小麦の消費拡大に繋がるロゴ・キャッチコピー等の統一及び管理・運営に関する企画 3 前述した取り組みを実行するための専用サイトの確保と同サイトの管理・運営に関する企画 	
地域活性化事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 教育現場に活用するための国内産小麦に関する教材 5,000 部以上の作成 2 食育を行うための教育現場(モデル校)の選定(北海道 1 校、北関東 1 校、九州 1 校)に関する企画 3 具体的な実践策の企画 	
拠点事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 外国人をターゲットとした国内産小麦でできたパン、麺等の試食会場の選定と試食会(年 3 回以上開催)の実行に関する企画 2 試食会の会場設営と運営に関する企画 3 前述した内容のメディア等を媒体とした情報の拡散につながる展開策の企画 	

※ 上記仕様書に基づく企画書の作成に当たっては、可能な限り、具体的な数値で表現して下さい。